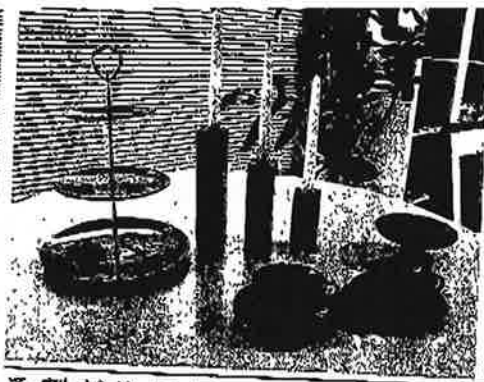


「販路に

主宰者を通じ



食空間プロデューサーの丸山洋子氏と開発したのは「SHAKUYA KU(シャクヤク)」と名付けた一連の露地。カップや重箱、菓子などを段重ねにして飾る「ティーツイア」など約30種類をそろえた。参考小売価格は2500〜1万円弱に設定した。ウレタン塗装だが、天然漆では表現

できないピンクや白など女性が好き、洋食系にも合うような色が特徴だ。5日に東京・南青山、18日に大阪市で開かれる。丸山氏の主宰者向けテーブルコーディネートセミナーで販売会を開く。今後は福岡市や仙台市といった大都市を中心と同様の販売イベントを開く予定だ。

主宰者は自分が気に入った食器などを仕入れ、生徒らに販売することが増えている。こうした主宰者に対しては小売価格の7〜8割程度で販売もする。「漆器は百貨店などに5割程度の価格で卸すことが多く、サロン向けの販売手法でも利益は確保できる」(山本泰三社長)と語っている。

主宰者はテーブルの華やかさを演出したり、料理に合うようにしたりするため、多くの食器が必要になる。ただ、購入費や保管スペースが負担になる場合が多い。このため小売価格の1割程度で1週間貸し出すサービスも3月から始める。1週間後に返却するか、買い取って生徒に販売するかを決めてもらう。

人気教室の主宰者は生徒を多く抱えるだけでなく、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス(NS)やブログを通じたファンも多い。ファンの多くは生活に余裕のある主婦らであることから、インターネット通信販売での購入にもつながりやすいと語っている。

山久漆工の15年4月期の売上高は約6千万円。新シリーズでは当初年間1千万円、3〜5年後に3千万円の売り上げを目指す。

サービスなどのインフラ整備やサーバー機能を提供した。膨大な利用者情報を収集し、ビッグデータを活用した今後の健康関連事業の展開に役立てる。3月上旬をめどに正式版の配布を始める。正式版も無料とする。

水道光熱費900万円減

福井大、省エネ改修事業で 4~11月

福井大学が今年5キャンパスで導入した、省エネルギー改修のESCO(エネルギー・サービス・カンパニー)事業の結果、2015年4〜11月に計9000万円の水道光熱費を削減できたことが分かった。同費用を2割減らす計画が達成できると、熱源見直しなどを含めて包括的に設備の運営管理を任せる仕組みを採用した。

削減額は医学部付属病院がある松岡キャンパス(福井県永平寺町)が8300万円と最も大きかった。空調や給湯の熱源の効率を高めたことなどが寄与した。

同大学は5キャンパスで計年1億5000万円の経費を減らすのを目標にしている。事業者への対価を除いても、大学は年4000万円程度の節約になる。

同大学は「今後、人が少ない廊下で空調の管理を工夫するなど、さらに省エネを進めたい」としている。

2信金の合併
財務局が認可
福井・武生
北陸財務局は4日、福井信用金庫(福井市)と武生信用金庫(福井県越前市)が15日付で予定する合併について、認可したと発表した。合併後の名称は「福井信用金庫」となる。武生信金は元理事長らによる不適切融資による損失が発生して以降、業績低迷が続いており、福井信金が救済する。店舗数は福井信金の44店舗と武生信金の12店舗を合わせ56店舗になる。将来は統廃合も検討する。

毎日の歩数や消費カロリーも自動記録される。アプリ「エブリ」を開発し、スマートフォンに接続して取り取りを記録すると、重ねて見ることもできる。利用者は活動記録を手軽に振り返られる。

与党検討委

農園運営の和郷(今兼井和郷)の子会社、福井和郷(福井県高浜町)は4日、高浜町で大規模ハウスの閉所式を開いた。甘みを高めたトマトを栽培する。2016年度中にカット野菜の加工施設と薬物野菜の植物工

大規模ハウス

中部の市場を開拓する。ハウスは太陽光を利用する連続型で、面積は3・6畝。既にトマトの作付けを始めており、年間300トを生産する。整備費用は約15億円、半額を国の補助金で賄い、県が10%、町が15%をそ



太陽光も利用し、トマトを年間300トを生産する(4日、福井県高浜町)ントになった」と話す。原立地や周辺の市町では料金が8年間、約半分になる。

フィルム包装の企画から製品まで

Kaya

世界基準の食品安全システム
FSSC22000 認証取得
資信テクノシステム株式会社
本社 Tel.(076) 276-2344 (ft)
URL <http://www.kayanet.co.jp>

報酬の改定と 参加者募集 / 参加無料